

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-200048(P2002-200048A)

【公開日】平成14年7月16日(2002.7.16)

【出願番号】特願2001-884(P2001-884)

【国際特許分類】

A 61 B 5/00 (2006.01)

G 06 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

A 61 B 5/00 G

G 06 F 17/60 1 2 6 Q

G 06 F 17/60 1 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月4日(2008.1.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 医師によって診断された医用画像データに異常あり又は異常なしに関するデータを付加して記録媒体に記録するデータ記録手段と、

前記記録媒体に記録されている前記医用画像データの中から異常なしに関するデータの付加されたものを抽出する抽出手段と、

前記抽出手段によって抽出された医用画像データに対して自動的に診断支援プログラムを起動して解析を行う解析手段と、

前記解析手段の解析結果に応じて医師にその解析結果を知らせる報知手段とを備えたことを特徴とする診断支援システム。

【請求項2】 請求項1に記載の診断支援システムにおいて、前記報知手段は、前記解析手段の解析結果が異常ありの場合、警告ウィンドウを表示手段上に表示することを特徴とする診断支援システム。

【請求項3】 請求項1に記載の診断支援システムにおいて、前記報知手段は、前記解析手段の解析結果が異常なしの場合、診断支援処理による診断が終了したことを示す支援済情報を前記医用画像データのヘッダ情報部にセットすることを特徴とする診断支援システム。

【請求項4】 請求項1、2又は3に記載の診断支援システムにおいて、前記データ記録手段、前記抽出手段、前記解析手段、及び前記報知手段がそれぞれ通信ネットワーク手段を介して接続されていることを特徴とする診断支援システム。